

東大和市

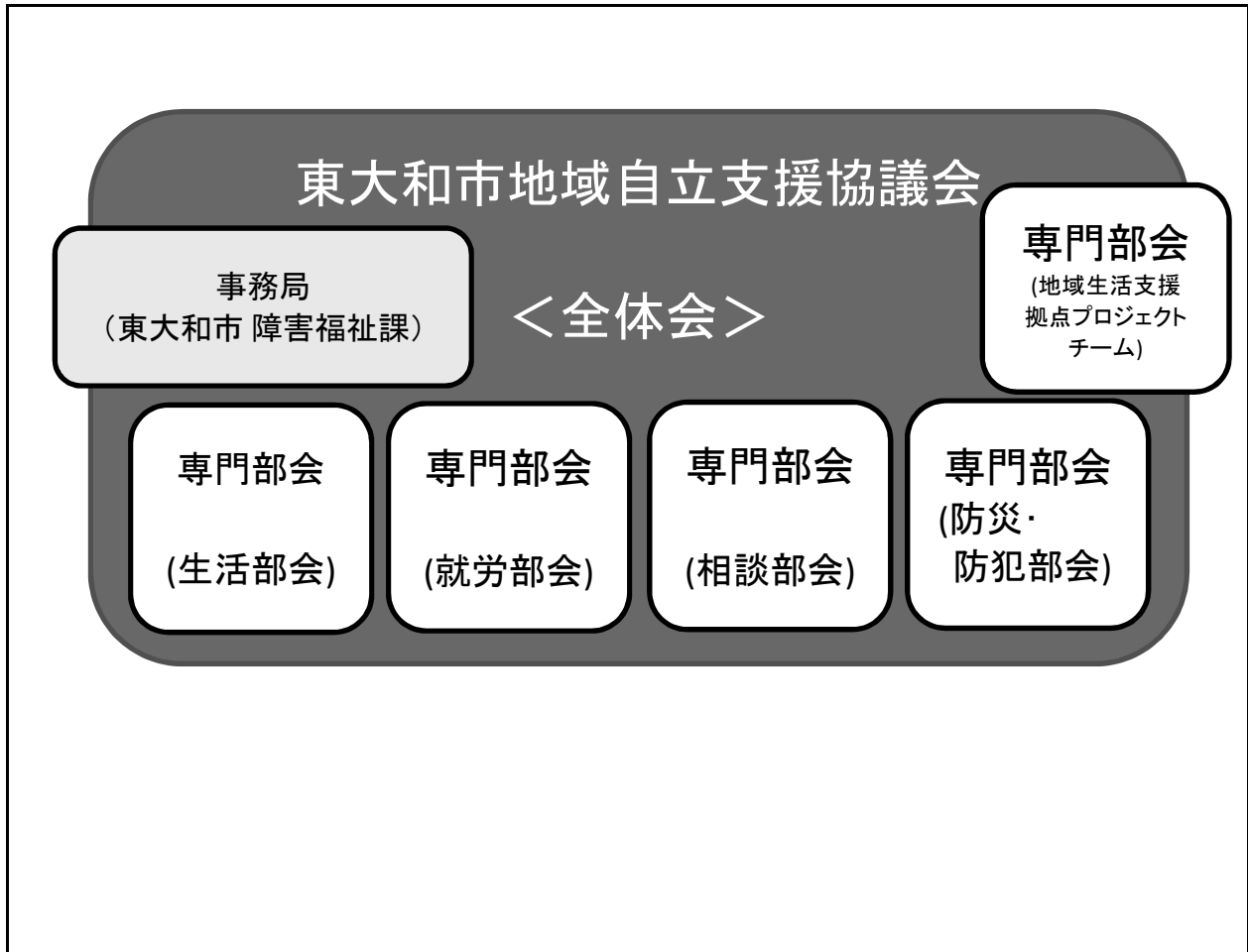
【名称】東大和市地域自立支援協議会

【ホームページURL】 <https://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/32.0.343.704.html>

【設置年月】平成22年3月

【運営方法】直営

【組織図】



【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
3	2	3	3	8	6

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
整備済	令和2年4月	面的整備型

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
4	16 (1)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
生活部会	3	14 (2)
就労部会	3	13 (0)
相談部会	11	9 (1)
防災・防犯部会	3	13 (1)
地域生活支援拠点等整備検討プロジェクトチーム	5	9 (1)

※「委員数」の（ ）：障害当事者（本人）で委員に就任されている方の人数（再掲）

【全体会の委員構成及び活動内容】

（１）委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	0	医療関係者	1	保健所	1
教育関係機関	2	雇用関係機関	1	企業	1
障害当事者・家族・関係団体	3	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	1
障害福祉サービス等事業者	4	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	1	地域住民	0	行政職員（区市町村）	0
行政職員（都）	0	その他	0		
合計	16				

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	海老原 宏美	東大和障害福祉ネットワーク	障害当事者・家族・関係団体	
2		上手 恵美子	は～とふる生活介護保護者会「柿の木会」	障害当事者・家族・関係団体	
3		工藤 滯	東大和精神保健福祉関係者連絡会	障害当事者・家族・関係団体	
4	副会長	田中 海之	東大和市相談支援事業者連絡会	相談支援事業者	
5		尾崎 美佐子	東大和市グループホーム事業所連絡会	障害福祉サービス等事業者	
6		橋本 智保子	就労支援事業所NOAH	障害福祉サービス等事業者	
7		粕谷 久美子	つつじネットワーク	障害福祉サービス等事業者	
8		若林 和男	東大和市商工会	企業	
9		前芝 博樹	立川公共職業安定所	雇用関係機関	
10		西山 直美	多摩立川保健所	保健所	
11		三村 さやか	東大和療育センター	医療関係者	
12		大沼 眞弓	村山特別支援学校	教育関係機関	
13		新居 衣都	羽村特別支援学校	教育関係機関	
14		尾又 斉夫	東大和市社会福祉協議会	社会福祉協議会	
15		井上 千秋	東大和市総合福祉センター	障害福祉サービス等事業者	
16		藤澤 春恵	民税委員・児童委員協議会	民生委員・児童委員	

（２）活動内容

「障害者の地域での共生生活を実現するために」をテーマに、専門部会からの活動報告を踏まえて障害者支援のあり方について協議している。

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別 \ 部会名	生活部会	就労部会	相談部会	防災・防犯部会	地域生活支援拠点等整備検討プロジェクトチーム
学識経験者	0	0	0	0	0
医療関係者	2	0	0	1	0
保健所	0	0	0	1	0
教育関係機関	1	1	0	0	0
雇用関係機関	0	4	0	0	0
企業	0	2	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	2	1	1	2	2
身体・知的障害者相談員	2	0	0	0	0
相談支援事業者	0	0	8	0	3
障害福祉サービス等事業者	6	5	0	2	4
社会福祉協議会	0	0	0	1	0
法曹関係者	0	0	0	0	0
民生委員・児童委員	0	0	0	1	0
地域住民	0	0	0	0	0
行政職員(区市町村)	0	0	0	3	0
行政職員(都)	0	0	0	2	0
その他	1	0	0	0	0
計	14	13	9	13	9

(2) 活動内容

部会名	活動内容
生活部会	テーマ「コロナ禍に生きる～障害のある方の新しい生活様式を考える～」 障害のある方と事業者へのコロナ禍でのアンケート調査を実施
就労部会	テーマ「東大和らしい障害者就労支援のあり方」 「就労準備（就職に向けて）→職場定着」という流れをわかりやすくまとめた冊子を作成。令和3年度においても引き続き実施予定
相談部会	障害福祉社会資源マップの作成 地域生活支援拠点事業への取組 地域課題の検討（住宅入居支援、ゴミ出し支援、金銭管理支援）
防災・防犯部会	テーマ「障害者の災害時支援のあり方について考える」 令和2年3月末に改定された「東大和市浸水・土砂災害ハザードマップ」について、講話をいただき、検討した。また、防犯セミナーについても実施
地域生活支援拠点等整備検討プロジェクトチーム	令和3年度以降順次実施する事業について検討した。 ・緊急時支援事業 ・自立体験事業

【地域協議会の活動状況】

1 地域協議会の協議事項（複数回答）

② 就労支援に関すること

「就労準備（就職に向けて）→職場定着」という流れを分かりやすくまとめた冊子を作成。令和3年度においても引き続き実施予定

⑤ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること

住宅入居支援、ゴミ出し支援、金銭管理支援等、制度の狭間で困難性の高い課題について、事業所へのアンケートを実施する等により検討を進めた。

⑨ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

令和2年度から地域生活支援拠点を整備し、令和3年度以降順次実施することを予定している緊急時支援事業や自立体験事業の実施方法等を検討した。

⑬ その他（防災・防犯に係る取組）

令和2年3月末に改定された「東大和市浸水・土砂災害ハザードマップ」について、講話をいただき、検討した。また、防犯セミナーについても実施

⑬ その他（コロナ禍における実態把握）

テーマ「コロナ禍に生きる～障害のある方の新しい生活様式を考える～」
障害のある方と事業者へのコロナ禍でのアンケート調査を実施

2 地域協議会としての役割（複数回答）

④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

相談部会において、障害福祉に係る社会資源マップの作成に取り組んだ。

⑤ 地域課題の整理

各部会で地域課題を挙げてもらい、全体会で確認・検討した。

⑥ 課題解決に向けての検討

各部会で地域課題を挙げてもらい、全体会で確認・検討した。

3-1 地域協議会における地域課題

あがっている

3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

②全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

② 社会資源の開発及び改善

住宅入居支援、ゴミ出し支援、金銭管理支援等、制度の狭間で困難性の高い課題について、事業所へのアンケートを実施する等により検討を進めた。

⑥ 緊急・災害等対応

令和2年3月末に改定された「東大和市浸水・土砂災害ハザードマップ」について、講話をいただき、検討した。市内の各地域により、内水氾濫・河川の溢水・土砂災害が懸念される地域にばらつきがあることがわかった。

⑩ 就労支援

市内企業の雇用促進に向けた取組や福祉就労から一般就労への取組について検討した。
「就労準備（就職に向けて）→職場定着」という流れを分かりやすくまとめた冊子を作成。令和3年度においても引き続き実施予定

⑬ その他（コロナ禍における実態把握）

障害のある方と事業者へのコロナ禍でのアンケート調査を実施。市として障害のある方と事業者に対し、情報提供を行うことの重要性や、衛生材料の確保が困難であったことが分かった。

3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域協議会における当事者の参画状況

（当事者の委員がいる区市町村）

4-1 多様な当事者の委員（障害や難病の種別、性別、年齢等）に参加していただくに当たり、取り組んでいること、課題になっていること

委員については、各団体等に依頼して選出していただいているが、知的障害・精神障害については当事者団体がないため、当事者の家族又は支援者が委員として選出されている。よって、当事者の生の声が反映されないことが課題

（地域協議会を設置している区市町村）

4-2 当事者の委員だけではなく、地域で生活する多様な当事者（障害や難病の種別、性別、年齢等）の声を吸いあげられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

当事者が話せる場（当事者部会のようなもの）の必要性について協議した。